

## 平成21年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業計画（案）

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月31日

### 目 標

「 支え合い、助け合い、励まし合う地域づくりをめざして 」

急速な世界景気の減速は、企業業績を悪化させ、雇用の人員整理、契約社員の契約打ち切りなど底の見えない状況が続き、特に雇用の不安は、身近な生活を直撃しています。加えて昨今の少子高齢化、核家族化、孤独死、高齢者・児童の虐待、障がい者の地域移行、災害時要援護者など地域福祉を取り巻く課題が顕在化しています。このような地域福祉を取り巻く課題をすべて公的なサービスだけで対応していくことには限りがあります。

昨年度策定をした第2期地域福祉活動計画は、地域住民一人ひとりの困りごとが解決されるよう、住民参加型の計画として本年度より実行して参ります。小地域の福祉活動を推進するモデル事業として、新たな内容で「おらほの地域福祉づくり事業」にも取り組みます。また、福祉運営委員や小地域の福祉活動をサポートする生き生きサロンを担うボランティアの育成を図り、社協職員が積極的に各支部に入り地域住民との対話を通して支援をして参ります。さらに本年度は、第2回東御市社会福祉大会の開催年にあたり、地域福祉の推進に向け市民への更なる啓発に努めて参ります。

また、介護保険事業も制度改正の年を迎え、要援護者のニーズに応えることを基本とし、法令を遵守しながら地域福祉の理念を生かした居宅介護支援、居宅訪問介護事業の充実と効率的運営を図り、地域の皆様に必要とされる事業所を目指すとともに、適切なサービスの提供に努めます。

現在、市から委託事業として運営している地域活動支援センターは、民間事業者に経営移管となることから、円滑な移行を図って参ります。

社会福祉協議会は、地域や地域住民とのつながりが強い（支え、支えられている）組織であり、自治体、民生委員、民間事業者等関係機関・団体との連携・ネットワークによる支えを得て、「支え合い、助け合い、励まし合う地域づくりをめざして」、地域住民が明るく夢を持って生き生きと暮らせる福祉のまちづくりを推進します。

## 主要事業

### 1. 社会福祉協議会の充実強化

#### (1) 法人経営の組織体制の強化

- 理事会（5回程度）の開催・運営
- 評議員会（3回程度）の開催・運営
- 支部長会の開催（自治推進委員会、会費収納会議）
- 役員研修会の開催
- 事務局体制の強化
  - ・事務改善を推進し、執行体制の充実強化を図る。
  - ・職員の資質向上（一般研修・専門研修の開催）

#### (2) 社会福祉協議会の会員加入の促進

未加入世帯に対し、継続的に会員加入を促進する。

また、市内の有力企業に対して法人会員の加入促進を進める。

一般会員		1, 000円
賛助会員	1口	2, 000円
法人会員	1口	5, 000円

#### (3) 社会福祉啓発の推進

- 社会福祉協議会報「ほほえみ」の発行、内容の充実 年6回発行
- ボランティア情報を社協会報に掲載
- 社会福祉協議会事業の啓発パンフレット「社協のしおり」を発行
- 福祉情報の発行
- 啓発資料の発行
- 第2回東御市福祉大会の開催
- 福祉の森ふれあいフェスティバルの開催
- ホームページの公開で、市民への最新の福祉情報の発信  
併せて、市民からの情報提供やご意見・ご質問等の受付

#### (4) 苦情解決

社会福祉協議会の事業全般に係る苦情の受付と整理、解決を図るためのシステムを構築する。

### 2. 地域福祉活動の支援、推進

地域福祉活動を支援する担い手の育成や拠点の整備、ネットワークづくりを推進する。

- (1) 地域福祉活動計画の推進
  - 地域福祉活動計画の進行管理
  - おらほの地域福祉づくり事業の推進
- (2) 支部福祉活動の支援
  - 支部福祉活動費（支部活動助成金）の交付（71支部）
  - 地域福祉懇談会の開催（2月頃・地区別）
  - 福祉運営委員の研修会の開催
  - 生き生きサロン等地域福祉活動助成メニューに応じた助成金の交付
  - 地域福祉推進のコーディネーターの配置
- (3) 民生児童委員活動との連携強化

### 3. 在宅福祉サービスの推進

在宅福祉サービスの充実を図るため、市受託の介護予防・地域支援事業の運営を推進するとともに、地域のニーズに応える福祉サービスを展開する。

#### <高齢者支援>

- (1) 介護予防活動通所事業の運営（市受託事業）
  - 滋野宅老所　くるみの家
  - 介護予防センター　くらかけ
- (2) 福祉用具貸与事業（介護ベット、車椅子等）
- (3) ホームヘルパー派遣事業
  - 生活管理指導員派遣事業（市受託事業）
  - 介護保険訪問介護事業
  - ほほえみサービス（自由契約）
- (4) 要介護認定者へのケアプランの作成（介護保険制度居宅介護支援事業）
- (5) 寝たきり高齢者希望の旅事業（市補助事業）
- (6) 在宅介護者リフレッシュ事業（市受託事業）
- (7) ひとり暮らし高齢者への福祉サービス
  - ふれあい会食会
  - おせち料理
- (8) 高齢者安否確認事業（市受託事業）
- (10) 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（市受託事業）
- (11) 敬老祝賀訪問・祝品の贈呈（長寿祝、金婚祝）

#### <障害者支援>

(1) 地域活動支援センター事業の運営（市受託事業）

○支援目標 障害者自立支援法に基づき、工賃アップ推進員の指導を受けながらグループ就労を実現させると共に工賃アップを図る。また、それぞれの自主製品の充実強化を図り、利用者のニーズに副う社会復帰や一般就労を支援する

○支援場所（3箇所）

地域活動支援センター祢津

地域活動支援センター布下

地域活動支援センター島川原

○支援内容

自主製品の充実強化及び社会復帰や一般就労を支援する

(2) ホームヘルパー派遣事業

○指定障害者福祉サービス事業（障害者自立支援制度）

(3) 重度障害者希望の旅事業（市補助事業）

(4) 障害者（高齢者含む）等福祉自動車貸出し事業

(5) 障害者の日のつどいの開催支援

(6) 視覚障害者への音訳、点訳サービス支援（市受託事業）

#### 4. 福祉教育、ボランティア活動の推進

ボランティア活動の啓発とボランティア団体や関連機関のネットワークの構築。

(1) 福祉教育の推進

○福祉協力校を指定し、児童や生徒がボランティア体験を通して福祉に関心を持ち、理解が深められるよう支援する。

○市内小・中学校で実施する「福祉体験学習」のプログラムの作成や講師の派遣調整

○福祉協力校補助金の交付

(2) ボランティア活動の推進

○ボランティアの総合相談、調整

○ボランティア情報誌（広報「ほほえみ」）の発行

○ボランティア団体への補助金交付、ボランティア保険の一部補助

○ボランティア連絡協議会の支援

○備品等の貸出しによるボランティア活動の支援

○ボランティアコーディネーターの研修

- ボランティア活動のプログラムの開発と充実
- 障害者との交流事業の実施
- 「福祉体験学習」や地域福祉活動等の出前講座の実施
- (3) ボランティア養成研修講座の開催
  - ボランティア活動入門講座、各種技能、課題別講座の開催
  - 手話・音訳・点訳ボランティアのスキルアップ研修
  - 災害時ボランティアサポーターの養成
- (4) ボランティアセンター機能の強化 新規
  - ボランティア情報市場の開催

## 5. 介護保険制度と障害者自立支援制度

介護保険事業の経営の安定を図るとともに、質の高いサービスを提供する。

- (1) 居宅介護支援事業
  - 居宅介護支援計画（ケアプラン作成事業）
  - 要介護認定調査（広域からの委託事業）
- (2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業）
- (3) 指定障害者福祉サービス事業（障害者自立支援制度）

## 6. 相談・支援事業の推進

- (1) 日常生活自立支援事業（市補助事業）
  - 日常生活自立支援事業の推進（県社協受託）
  - 金銭管理、財産保全サービス事業の推進
- (2) 貸付相談事業

<生活福祉資金>（県社協扱）

### ○生活福祉資金

低所得世帯・障害者世帯等の生活福祉相談者に対し、民生委員と連携し自立生活援助のための貸付を行う。

資金種類・・・更生資金、福祉資金、修学資金、療養・介護資金、緊急小口資金

### ○離職者支援資金

失業により生計の維持が困難となった世帯に対し、再就職までの間の生活資金として貸付、自立を支援する。

### ○長期生活福祉資金

一定の居住用不動産を有し、その住居に住み続けることを希望する高齢者世帯

に対し、不動産等を担保として生活資金を貸付、自立を支援する。

<生活資金> (市社協扱)

市内に居住する低所得世帯等の生活福祉相談者に対し、つなぎ資金として一時的に資金の貸付を行う。

(3) 結婚相談および心配ごと相談事業の促進

毎週日曜日 午前中 中央公民館にて

## 7. その他の福祉活動支援

(1) 共同募金運動への協力

市民の善意を結集する赤い羽根募金運動の取組

(2) 日本赤十字事業の推進

赤十字の活動財源である社資募集の協力、赤十字思想の普及、赤十字奉仕団の育成・援助

(3) 福祉団体の支援

○補助金交付 (8団体)

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、知的障害者育成会、母子寡婦会  
傷痍軍人会、遺族会、更生保護女性会、保護司会

○ゲートボール大会の開催

## 事業別行事計画

### ◇理事会（理事15名）

- 5月 平成20年度事業報告及び一般会計決算の審議
- 6月～11月 必要に応じて理事会
- 9月9日 長野県社会福祉大会参加（伊那市）
- 12月 平成22年度事業計画検討会
- 22年3月 平成22年度事業計画及び一般会計予算審議

### ◇評議員会（評議員31名）

- 5月 平成20年度事業報告及び一般会計決算審議、評議員研修会
- 6月～12月 必要に応じて評議員会
- 22年3月 平成22年度事業計画及び一般会計予算審議

### ◇監査（監事2名）

- 5月中旬 平成20年度 決算監査

### ◇福祉運営委員研修

- 5月 福祉運営委員長研修会
- 22年2月 地域福祉懇談会の開催（地区別）

### ◇広報紙及び啓発事業

- 7月 第2回東御市社会福祉大会の開催
- 5・7・9・11・1・3月（奇数月）  
社協会報「ほほえみ」の発行（ボランティア情報含む）  
※ 随時 社協啓発用のパンフレットの発行

### ◇社会福祉協議会の会費

- 6月下旬 支部長会 会費収納会議
- 7月中 会費収納期間

### ◇高齢者・障害者支援事業

- 5月 寝たきり老人希望の旅事業（日帰り）
- 6・11・2月 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業
- 6月 ひとり暮らし高齢者ふれあい会食会事業
- 7・11・3月 在宅介護者リフレッシュ事業
- 9月 重度障害者希望の旅事業（泊り）
- 9月 敬老祝賀（長寿・金婚祝）
- 9・10月 地域活動支援センター日帰り研修事業

1 2月 障害者の日の集い

1 2月 おせち料理訪問

#### ◇ボランティア活動

随時 各種ボランティア講座

8月 夏休みボランティア体験教室

3回／年 ボランティアスキルアップ研修会（手話・音訳・点訳）

8・11月 地域ボランティア活動援助講座（サロンの為の料理講習）

6月 自然を楽しむ会（障害者とボランティアの交流事業）

10月 福祉の森ボランティアフェスティバル

1月～3月 災害ボランティアサポーター養成講座

#### ◇地域福祉活動支援

6月 支部活動助成金の交付（71支部）

随時 生き生きサロン等の地域福祉活動 地域で実施

#### ◇赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金

10月1日～31日 収納期間（運動期間は10月1日～12月31日）

10月 街頭募金の実施（田中駅前・火のアートフェスティバル）

#### ◇日本赤十字社市地区事業

4月下旬 日本赤十字社・東御市奉仕団総会及び社資収納会議

5月1日～31日 収納期間 社資額 500円～

6月 家庭看護法講習会

8月 一日赤十字（炊き出し・救急法講習）

#### ◇その他

6月 福祉団体ゲートボール大会

4月～22年3月 結婚相談事業 毎週日曜日 午前9時～12時